

平成30年11月9日
小樽商科大学

2021（平成33）年度入学者選抜について（予告）

本学では、2020（平成32）年度に実施する2021（平成33）年度入学者選抜を次のとおり実施します。

なお、この他の詳細な内容等については改めてお知らせします。

1. 入学者選抜制度について

2020（平成32）年度に実施する2021（平成33）年度入学者選抜の概要は次のとおりです。詳しくは別表「小樽商科大学入学者選抜制度の新旧対照表」をご覧ください。

なお、より詳細な内容は決定次第本学Webサイトにて公表しますので、今後の情報に注意してください。

入試区分		定員	選抜の概要
昼間コース	一般選抜 （前期日程）	280名	「英語重視枠（仮称）」と「数学重視枠（仮称）」により募集します。各重視枠の定員は改めてお知らせします。
	一般選抜 （後期日程）	70名	大学入学共通テストの結果に加え、調査書や志願者本人が記載する資料を活用します。
	学校推薦型選抜	95名	「一般枠（仮称）」と「専門学科・総合学科卒業生枠（仮称）」により募集します。このことに伴い、専門学科・総合学科卒業生入試は廃止します。
	グローバル総合入試 （総合型選抜）	20名	「一般枠（仮称）」と「理系枠（仮称）」により募集します。「一般枠（仮称）」の定員は15名、「理系枠（仮称）」の定員は5名です。
	私費外国人留学生入試	若干名	日本留学試験を受験し、本学が定める基準以上の結果であることを出願要件とします。
	帰国子女入試	若干名	中国引揚者等子女入試を廃止し、帰国子女入試に統合します。
夜間主コース	一般選抜 （前期日程）	20名	これまでと大きな変更点はありません。 大学入学共通テストの利用等については、下記をご覧ください。
	学校推薦型選抜	20名	
	社会人入試	10名	

2. 大学入学共通テストについて

- (1) 昼間コース「一般選抜」については、前期日程、後期日程ともに5教科7科目を課します。

また、英語「認定試験」の受検を本学の出願要件としますが、その水準や認定試験結果の具体的な取り扱い等については、改めてお知らせします。

- (2) 昼間コース「学校推薦型選抜」については、英語、数学、国語のうちから最も得点の高い、いずれか1教科を採用します。

また、英語「認定試験」の結果は、CEFR 対照表に基づき選抜に活用します。

- (3) 昼間コース「グローバル総合入試（総合型選抜）」及び「私費外国人留学生入試」、「帰国子女入試」については、大学入学共通テストを課しません。

また、英語「認定試験」の結果は、CEFR 対照表に基づき選抜に活用します。

- (4) 夜間主コース「一般選抜」については、英語、数学、国語の3教科を課します。

また、英語「認定試験」の受検を本学の出願要件としますが、その水準や認定試験結果の具体的な取り扱い等については、改めてお知らせします。

- (5) 夜間主コース「学校推薦型選抜」及び「社会人入試」については、大学入学共通テストを課しません。

- (6) 国語及び数学における記述式問題の取り扱いについては、改めてお知らせします。

3. 個別学力検査等について

- (1) 昼間コース「一般選抜」前期日程の実施教科については、現行の教科とし、各教科において、「知識・技能」を基盤とした「思考力・判断力・表現力」を評価します。

- (2) 昼間コース「一般選抜」後期日程及び「学校推薦型選抜」については、大学入学共通テストにより、「知識・技能」を基盤とした「思考力・判断力・表現力」を評価するとともに、調査書や志願者本人が記載する資料を活用して「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

- (3) 昼間コース「グローバル総合入試（総合型選抜）」については、調査書や志願者本人が記載する資料を活用して「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。また、「知識・技能」を基盤とした「思考力・判断力・表現力」を評価するため、口頭試問を実施します。

- (4) 夜間主コース「一般選抜」前期日程の実施教科については、現行の教科とし、「知識・技能」を基盤とした「思考力・判断力・表現力」を評価します。

- (5) 夜間主コース「学校推薦型選抜」については、小論文により、「知識・技能」を基盤とした「思考力・判断力・表現力」を評価するとともに、調査書や志願者本人が記載する資料、面接を活用して「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

2021（平成33）年度以降の新たな入試制度とそのポイント

小樽商科大学では、平成33年度入試よりグローバル総合入試（総合型選抜）を新設するとともに、既存の選抜方法も一部変更します。以下では主要な変更点についてそのポイントを記載します。2021（平成33）年度入学者選抜の制度全体、大学入学共通テスト及び英語「認定試験」の活用については、別紙「2021（平成33）年度入学者選抜について（予告）」及び「小樽商科大学入学者選抜制度の新旧対照表」を参照ください。

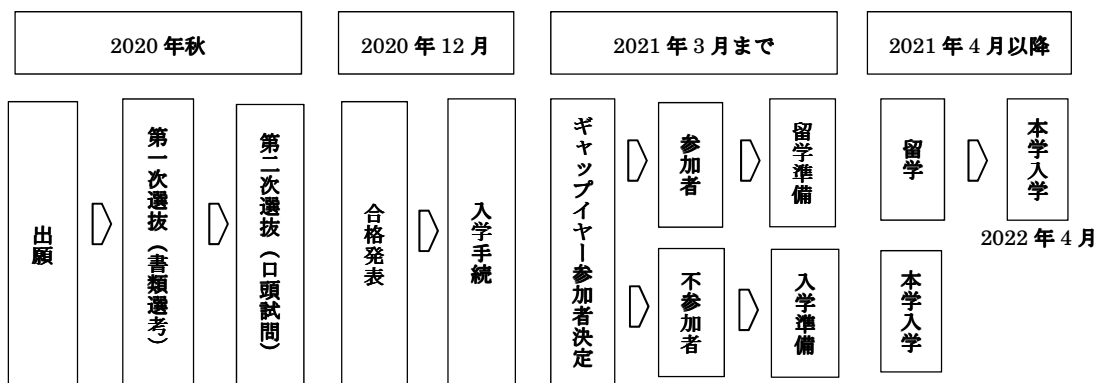
【今回の新たな入試制度の構築のポイント】

- 新たにグローバルコースを設置すると同時に、それに対応したグローバル総合入試を実施します。それにより道内外の英語力が高く、留学志向の強い学生を募集します。また、「国立大初の大学関与型ギャップイヤープログラム」も開始します。
- 本学の学生の2割は理系出身で経済学科、社会情報学科でその能力が生かされてきました。新たにグローバル総合入試および一般選抜で枠を作り、そのような学生を求めます。
- 従来の知識偏重の学力から、学力の3要素を意識した選抜方法が求められる現在、本学では定員の4割にまで多面的評価による選抜を増やし対応していきます。

1. 新たな入試制度：グローバル総合入試（総合型選抜）の新設

【概要と特長について】

- ① 英語力(4技能)とコミュニケーション力を中心に評価する選抜方法です。
- ② 2020（平成32）年秋に試験を実施し、共通テスト前の12月中に合格者（定員20）を決定します。そのうち希望者（定員5名）は、ギャップイヤープログラムに参加することができます。参加者は入学を1年間猶予した上で、その間は大学からの手厚い支援のもと海外の協定大学へ長期留学をすることができます。
- ③ 合格者はグローバルコースに所属し、留学生とともに地域や外国語、さらに一部英語で専門科目（経済・商学）を学びます。卒業には原則、一定期間の留学が必要です。



【出願要件等について】

- ④ 英語「認定試験」の成績が、CFER 換算表において一定の段階評価以上であれば、留学生を含め受験することが出来ます（必要な段階評価は追って公表します）。
- ⑤ そのほか数学Ⅲを履修済もしくは履修中の人のみが出願できる理系枠（仮称）があります。この場合、出願要件が英語「認定試験」スコアの提出に緩和されます。
- ⑥ 既存の全ての選抜方法と併願可能です。

【卒業後の進路について】

- ⑦ 卒業後は、地域と世界で活躍するビジネスパーソンの養成や国内外の大学院への進学を目指します。前身となるグローバル副専攻プログラム修了者は、大手広告代理店や航空会社の客室乗務員をはじめとしたグローバル企業に就職しています。

2. 既存の入試制度の大きな変更点

変更点 1 昼間コース一般選抜の前期日程に「数学重視枠」を新設

- ① 昼間コース一般選抜の前期日程(定員 280)では、文系理系を問わず数学が得意な生徒にも門戸を開くために「数学重視枠（仮称）」を新設します。これは個別学力検査において数学を 200 点で固定し、英語・国語のいずれかは、得点の良い方を 200 点、悪い方を半分の 100 点に圧縮するものです。
- ② 従来の英語を 200 点で固定する採点方法も残し、「英語重視枠（仮称）」として併存します。どちらの枠でも個別学力検査の合計は 500 点満点で変更はありません。
- ③ それぞれの枠については、定員を設け、出願時に選択するものとします。また、それぞれの枠の定員については、後日追って発表します。

変更点 2 昼間コース一般選抜の後期日程で「調査書および活動報告書」を評価し加点

- ① 従来の選抜方法では、大学入試センター試験 5 教科 7 科目（900 点満点）での評価でしたが、2021（平成 33）年度入試より、調査書および活動報告書による多面的な評価（50 点満点）を加えます。

変更点 3 専門学科・総合学科卒業生入試を学校推薦型選抜へ統合

- ① 従来の専門学科・総合学科卒業生入試（定員 5）を学校推薦型選抜に統合するとともに、一般枠（定員 85）と、専門学科・総合学科卒業生枠（定員 10）の 2 つに分けて募集します。
- ② 従来の推薦入学では、主にカリキュラムが異なる普通科の生徒と商業科などの専門学科の学生が混在する中、両者は同じ基準で評価されてきました。今回、枠を設けることで独立して評価します。

小樽商科大学入学者選抜制度の新旧対照表

2020（平成32）年度入試

入試区分	定員	選抜方法等
昼間コース	一般入試（前期日程）	280名 出願要件：なし 共通テスト：5教科7科目（900点満点） 個別学力検査：英語、数学、国語（500点満点） その他：なし
	一般入試（後期日程）	90名 出願要件：なし 共通テスト：5教科7科目（900点満点） 個別学力検査：課さない その他：なし
	推薦入試	90名 出願要件：評定平均値4.0以上 共通テスト：英語、数学、国語から1科目（200点満点） 個別学力検査：課さない その他：志望理由書、調査書、推薦書
	専門学科・総合学科卒業生入試	5名 出願要件：商業、工業高校出身者又は所定の単位修得者 共通テスト：英語、数学、国語から1科目（200点満点） 個別学力検査：小論文 その他：調査書
	私費外国人留学生入試	若干名 出願要件：日本留学試験の受験 共通テスト：課さない 個別学力検査：小論文、面接 その他：日本留学試験の日本語、総合科目、数学
帰国子女入試 中国引揚者等子女入試	若干名 出願要件：あり 共通テスト：課さない 個別学力検査：小論文、面接 その他：成績証明書	

2021（平成33）年度以降入試

入試区分	定員	選抜方法等	備考
昼間コース	一般選抜（前期日程）	280名 出願要件：英語「認定試験」の受験 共通テスト：5教科7科目（900点満点） 個別学力検査：英語、数学、国語（500点満点） その他：なし	各重視枠の名称及び定員は、改めて公表します。 英語「認定試験」の具体的な活用方法は、改めて公表します。
	【英語重視枠（仮称）】	（未定） 個別学力検査の英語を200点で固定し、その他いずれか得点の低い教科を2分の1	
	【数学重視枠（仮称）】	（未定） 個別学力検査の数学を200点で固定し、その他いずれか得点の低い教科を2分の1	
昼間コース	一般選抜（後期日程）	70名 出願要件：英語「認定試験」の受験 共通テスト：5教科7科目（900点満点） 個別学力検査：課さない その他：調査書、志願者本人が記載する資料（50点満点）	英語「認定試験」の具体的な活用方法は、改めて公表します。
	学校推薦型選抜	95名 共通テスト：英語、数学、国語から1科目（200点満点） 個別学力検査：課さない その他：調査書、志願者本人が記載する資料、自己推薦書、CEFRの段階評価加点 ※同一高校からの推薦は下記二枠合計で4名以内	専門学科・総合学科卒業生入試は、学校推薦型選抜に統合します。
	【一般枠（仮称）】	（85名） 出願要件：学習成績の状況4.0以上	
	【専門学科・総合学科卒業生枠（仮称）】	（10名） 出願要件：商業、工業高校出身者又は所定の単位修得者 学習成績の状況4.0以上 ※同一高校からの推薦は2名以内	
	グローバル総合入試（総合型選抜）	20名	英語「認定試験」の具体的な活用方法は、改めて公表します。
【一般枠（仮称）】	（15名） 出願要件：CEFRの段階評価以上 共通テスト：課さない 〈高校又は中等教育学校出身者〉 第一次選抜：調査書、志願者本人が記載する資料、志望理由書、認定試験のスコア 第二次選抜：口頭試問（日本語及び英語） 〈私費外国人留学生〉 第一次選抜：日本留学試験、志望理由書、認定試験のスコア 第二次選抜：口頭試問（日本語及び英語） 〈帰国子女〉 第一次選抜：成績証明書、志望理由書、認定試験のスコア 第二次選抜：口頭試問（日本語及び英語）		
【理系枠（仮称）】	（5名） 出願要件：英語「認定試験」の受験、「数学Ⅲ」の履修 共通テスト：課さない 第一次選抜：調査書、志願者本人が記載する資料、志望理由書、認定試験のスコア 第二次選抜：口頭試問（日本語及び英語）		
私費外国人留学生入試	若干名 出願要件：日本留学試験の受験 共通テスト：課さない 個別学力検査：面接 その他：日本留学試験の日本語、総合科目、数学	私費外国人留学生については、日本留学試験の成績が本学の基準以上であることを出願要件とします。	
帰国子女入試	若干名 出願要件：あり 共通テスト：課さない 個別学力検査：小論文、面接 その他：成績証明書	中国引揚者等子女入試は廃止します。	
夜間主コース	一般選抜（前期日程）	20名 出願要件：英語「認定試験」の受験 共通テスト：英語、数学、国語 個別学力検査：英語 その他：なし	英語「認定試験」の具体的な活用方法は、改めて公表します。
	学校推薦型選抜	20名 出願要件：学習成績の状況4.0以上 共通テスト：課さない 個別学力検査：小論文、面接 その他：調査書、志願者本人が記載する資料、自己推薦書、CEFRの段階評価加点	
	社会人入試	10名 出願要件：あり 共通テスト：課さない 個別学力検査：小論文、面接 その他：調査書、志望理由書	

夜間主コース	一般入試（前期）	20名 出願要件：なし 共通テスト：英語、数学、国語 個別学力検査：英語 その他：なし
	推薦入試	20名 出願要件：評定平均値4.0以上 共通テスト：課さない 個別学力検査：小論文、面接 その他：志望理由書、調査書、推薦書
	社会人入試	10名 出願要件：あり 共通テスト：課さない 個別学力検査：小論文、面接 その他：志望理由書、調査書